

通信

～潟の歴史を未来につなぐ～

2018/09/07



潟さべり

第2号

八郎潟・八郎湖学研究会

大好評 「八郎潟 文学散歩」 2018/07/28

7月28日(土)、「八郎潟文学散歩」を行いました。本会の発足後、初めて企画したイベントでしたが、秋田市、男鹿市、潟上市、三種町、井川町、五城目町、大潟村、そして八郎潟町から28名の参加をいただいて、にぎやかに開催できました。

当日は快晴でしたが、心配していた猛暑も和らいで、絶好の「文学散歩」日和となりました。

JR八郎潟駅で参加者全員がそろい、最初の見学地、八郎潟町夜叉袋の諏訪神社へ向かいました。ここは与謝蕪村が訪れて俳句を詠んだ場所で、50年ほど前に地元有志が建立した句碑があります。



案内人の秋田県立大学の高橋秀晴教授の説明に熱心に耳を傾ける参加者。メモをとったり句碑を写真に収めたりと、興味津々の様子でした。

参加者の中に句碑の建立の経緯を知る方々

もいてエピソードを話してくださり、いっそう深みのある見学となりました。境内には他にも歴史的に価値のあるものが多く、文学や歴史に関心のある人にとっては魅力的な場所であることを確かめることができました。



次の見学地はこの日のハイライト、三倉鼻です。かつて日本第二の湖であった八郎潟を一望できる景勝地として名高かったこの地には、多くの文人が訪れています。



小高い公園の上まで息を切らして登った参加者は、眼下に広がる八郎湖と大潟村、そして背後の男鹿の山々の眺望を楽しみながら、干拓前の八郎潟にも思いをはせていました。

公園の下には正岡子規の句碑があり、句の説明はもとより、子規が26歳で訪れた当時の事情や作句の背景なども語られて、興味は尽きませんでした。

この後、塞ノ神農村公園に移動、「田んぼアート」を鑑賞しました。また、この公園には当日の参加者でもあった舘岡誠二さんの句碑もあり、ご本人から直接詳しいご説明をいただきました。句に込めた思いや句碑建立に至る経緯などもお話しくださり、参加者も感慨深く耳を傾けていました。



昼食は八郎潟町農村環境改善センター。お弁当を食べながら、参加者同士の会話もはずんでいました。



午後八郎潟役場前の石田玲水の詩碑、五城目町の矢田津世子文学記念室、大潟村、男鹿市船越の文学にゆかりのある土地を巡り、「文学散歩」は終わりました。



大潟村 南の池公園 石田玲水の句碑前

途中、バスの中でも案内人の高橋教授が、作家たちの人物像や作品の背景などについて詳細に説明しました。専門の研究者ならではの視点から語られる興味深い内容は、八郎潟・八郎湖を舞台とした様々な作品を手にとってみたいという気持ちにさせてくれました。



本会としては初めての試みとして行ったイベントでしたが、参加者アンケートの結果をみても高い評価をいただき、本当にありがたく思いました。身近にありながら、知らずにいた八郎潟・八郎湖の魅力を確認できた一日になりました。

このイベント実施にあたり、多大のご協力をいただいた八郎潟町の「寒鮎俳句会」の皆様にも心から御礼を申し上げます。





「八郎潟・八郎湖アーカイブ」 秋田県立大学にオープン!

6月13日(水)に秋田市下新城の秋田県立大学秋田キャンパス図書館の一角に「八郎潟・八郎湖アーカイブ」がオープンしました。

八郎潟・八郎湖に関連した文学や動植物などの図鑑類、干拓前後の様子を記録した写真集など、様々な分野の文献が書架に並び、誰でも自由に閲覧できるようになりました。

アーカイブのオープンにあたり、当日は本会会長の谷口が中心となってセレモニーを行い、公開される書籍等について説明をしました。干拓事業についての詳細な資料や昔の八郎潟を知る貴重な文献も多数含まれており、セレモニーに参加した方々も興味深げに本を手にとってページをめくっていました。

収蔵されている書籍は貸し出しも可能となっており、図書館の係員からは貸し出しの手続きの説明もしてもらいました。

八郎潟や八郎湖に関心のある方には魅力的な文献が数多く並んでおりますので、ぜひお立ち寄りいただければと思います。



インタビュー「潟さべり」 伊藤準一郎さん(五城目町大川)



終戦直後から永年農業に従事し、昭和から平成への変わり目の頃には農協組合長も務められた、五城目町大川在住の伊藤準一郎さんをお訪ねして、いろいろお話を伺いました。

訪問の目的は八郎潟干拓事業の前後でどのように生活が変化したのかについて、八郎潟周辺部地域で農業を営む方の率直な声を伺うことでした。戦時中から現在に至るまでの自らの人生を回想しながらの伊藤さんのお話は、初めて耳にすることも多く、有意義な時間でした。お話の内容は今後、様々な形で本会の活動に生かしていく予定です。貴重なお話をいただいた伊藤さんに深く感謝いたします。

イベントのご案内

～残された八郎潟の潟船・漁撈用具に学ぶ～

◇「現地調査 八郎潟の漁撈用具」

○目的：潟の民俗展示室、八郎潟漁撈用具収蔵庫、うたせ館を巡り、八郎潟干拓前の潟船や漁撈用具を見学して、文化財としての価値を知り、新たな活用法を探る。

○案内（解説）

潟船保存会

天野 荘平 氏



○期日：平成30年9月22日(土)

○集合場所：①秋田県立大学秋田キャンパス
②JR追分駅

○行程（予定）

9：30 秋田県立大学秋田キャンパス出発

9：40 JR追分駅前

10：00 潟の民俗展示室（天王グリーンランド内）

11：20 八郎潟漁撈用具収蔵庫（潟上市元木山）

12：40 昼食（八郎潟町内）

13：40 うたせ館（八郎潟町）

16：00 JR追分駅前

16：10 秋田県立大学秋田キャンパス解散

○参加費：会員…1,000円 非会員…1,500円
昼食代・保険料込み

○定員：30名（先着順・会員優先）

○申込：電話・FAX またはメールにて、下記事務局までお申し込みください。

TEL・FAX：018-874-8686(NPO法人はちろうプロジェクト内)

E-MAIL：88gaku@gmail.com

姿を消して久しい潟船や漁撈用具を間近に見ながら文化財としての価値を再確認し、今後の活用法も考えてみたいと思います。

案内人は民俗学の専門家でもある潟船保存会会員の天野荘平氏（本会副会長）です。この機会に眠れる貴重な民俗資料を通して、先人の知恵や苦労を偲びましょう。ぜひご参加ください。

今後の活動予定

1 「印旛沼・手賀沼の住民活動を学ぶ」

○日時：10月3日午後3時～5時

○場所：秋田県立大学秋田キャンパス

○講師：千葉県立中央博物館 林紀男氏

2 現地調査「八郎潟の漁業の実態」(仮題)

○日時：未定（10月上旬～中旬を予定）

○講師：秋田県立大学 杉山秀樹氏

※1・2とも詳細は事務局までご連絡を

◆お詫び

9月初旬に予定していた現地セミナー「八郎潟干拓を問い直す」は10月下旬に延期いたしました。申し訳ありません。現地セミナーの詳細が決まりましたら、チラシ等でお知らせいたしますので、その節はよろしく願います。

会員を募集しています

会員には通信を定期的にお届けするほか、各種イベントの案内、イベント参加費の軽減などの特典があります。

○正会員……………3,000円

○団体会員………5,000円

○賛助会員…10,000円

（会費はいずれも年会費です）

◎申込：郵便局と秋田銀行に振込先口を用意しています。詳しくは事務局までメール等でお問い合わせください。

～八郎潟・八郎湖に関心のある皆さん
ぜひ仲間に加わってください～

八郎潟・八郎湖学研究会

事務局：秋田県立大学 環境社会学研究室内
〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL・FAX：018-874-8686(NPO法人はちろうプロジェクト内)

E-MAIL：88gaku@gmail.com

URL：http://hachiro865.net/hachirores.html